作成日 ：2020年 2月27日
改訂日 ：2026年 3月27日

安全データシート

１．化学品及び会社情報

化学品の名称	ホットコンビジャンボ
製品コード	BHEI
供給者の会社名称	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
住所	東京都千代田区神田練塀町３番地
担当部門	安全環境・品質保証室
電話番号	03-6867-8313
FAX 番号	03-6867-8330
緊急連絡先	03-6867-8313
推奨用途	農薬（水稲用除草剤）
使用上の制限	農薬登録内容以外の使用は不可
整理番号	１５１２－２４

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

(物理的及び化学的危険性)

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高圧ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

(健康に対する有害性)

急性毒性：経口	区分に該当しない
急性毒性：経皮	区分に該当しない
急性毒性：吸入（気体）	区分に該当しない
急性毒性：吸入（蒸気）	分類できない
急性毒性：吸入（粉じん）	分類できない
急性毒性：吸入（ミスト）	区分に該当しない

皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分２Ｂ
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分１
生殖細胞変異原性	区分２
発がん性	区分１Ａ
生殖毒性	区分２ 追加区分：授乳に対するまたは授乳を介した影響
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分１（呼吸器系、免疫系、腎臓）
誤えん有害性	分類できない

(環境に対する有害性)

水生環境有害性　短期（急性）	区分１
水生環境有害性　長期（慢性）	区分１
オゾン層への有害性	分類できない

ＧＨＳラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語　危険

危険有害性情報
- 眼刺激
- アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- 遺伝性疾患のおそれの疑い
- 発がんのおそれ
- 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
- 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
- 長期にわたる、又は、反復ばく露による臓器（呼吸器系、免疫系、腎臓）の障害
- 水生生物に非常に強い毒性
- 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き　安全対策
- 取扱い後、手、顔、眼等をよく洗うこと。
- 粉じん/煙/蒸気を吸入しないこと。
- 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 使用前に取扱い説明書を入手すること。
- すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 必要なとき以外は、環境への放出を避けること。

応急措置
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄

を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
漏出物を回収すること。

保管　施錠して保管すること。
廃棄　内容物/容器を法/条例に従って廃棄すること。

3．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　混合物
化学名又は一般名　テニルクロール・ベンゾビシクロン粒剤
成分及び濃度（含有率）

(成分)	(化学名／化学式)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
				(安衛法)	(化審法)
＜成分①＞ テニルクロール	2-クロロ-N-(3-メトキシ-2-テニル)-2',6'-ジメチルアセトアニリド ／$C_{16}H_{18}ClNO_2S$	10.0 %	96491-05-3	8-(6)-147	―
＜成分②＞ ベンゾビシクロン	3-(2-クロロ-4-メシルベンゾイル)-2-フェニルチオビシクロ[3.2.1]オクタ-2-エン-4-オン ／$C_{22}H_{19}ClO_4S_2$	10.0 %	156963-66-5	7-(2)-168	―
＜成分③＞ 鉱物質微粉、界面活性剤等	―	80.0 %	―	―	―

＜安衛法　表示・通知対象物質＞

(成分)	(化学名／化学式)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
				(安衛法)	(化審法)
結晶質シリカ (成分③に含有)	二酸化ケイ素／SiO_2	23 - 28 %	14808-60-7	―	(1)-548
テニルクロール	2-クロロ-N-(3-メトキシ-2-テニル)-2',6'-ジメチルアセトアニリド ／$C_{16}H_{18}ClNO_2S$	10.0 %	96491-05-3	8-(6)-147	―

【令和８年４月１日以降】安衛法　表示・通知義務対象物質

(成分)	(化学名／化学式)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
				(安衛法)	(化審法)
ジオクチルスルホコハク酸ナトリウム (成分③に含有)	ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート ／$C_{20}H_{37}NaO_7S$	>=1 - <5 %	577-11-7	―	(2)-1805

4．応急措置

吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水で洗うこと。皮膚刺激又は発疹を生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。清浄な水で数分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄すること。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診察/手当てを受けること。

5．火災時の措置

適切な消火剤	霧状水、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素等
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、塩化水素等が含まれる。
特有の消火方法	消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行うこと。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用し、風上から消火活動を行うこと。
消火時の注意	移動可能な容器は速やかに安全な場所に移すこと。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏出時の処理を行う際には、必ず保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣等を着用し、眼や皮膚に付着しないようにすること。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川、湖沼等に排出され、環境への影響を起こさないように注意すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	飛散したものを掃き集め、密閉できる空容器に回収すること。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに取り除くこと。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	設備の密閉化、局所排気装置や換気設備を設けること。 眼、皮膚、衣類に付着させ な い。
安全取扱い注意事項	容器の破損や漏洩に注意すること。
接触回避	情報なし
衛生対策	吸い込んだり、皮膚や眼に触れないよう、長袖の作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡等を着用して、できるだけ風上から作業す

	ること。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをすること。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉し、適当な換気のある乾燥した冷暗所に、施錠して保管すること。 飲食品や飼料と区別して保管すること。
安全な容器包装材料	製品容器包装材料に準ずること。

8．ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	
管理濃度	E＝3.0/(1.19Q＋1) E：管理濃度（mg/m^3） Q：当該粉じんの遊離けい酸含有率（%）
許容濃度	日本産業衛生学会で未設定
設備対策	設備の密閉化、局所排気装置の設置・使用、又は全体の換気を適切に行うこと。 取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	防じんマスク又は簡易防じんマスク
手の保護具	保護手袋
眼、顔面の保護具	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護服（長袖、長ズボン）、保護長靴

9．物理的及び化学的性質

物理状態	粒状固体（水溶性パック入り）
色	類白色
臭い	情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	情報なし
ｐＨ	10.3（1%水溶液）
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	情報なし
粒子特性	情報なし
かさ密度（見かけ比重）	0.44

10．安定性及び反応性

反応性	通常の取扱いでは反応性なし。
化学的安定性	通常の保管条件では安定。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、塩化水素等が含まれる。

11. 有害性情報

急性毒性　経口 LD_{50}	＞2,000 mg/kg（ラット）（区分に該当しない）
経皮 LD_{50}	＞2,000 mg/kg（ラット）（区分に該当しない）
吸入 LC_{50}	情報なし（分類できない）
皮膚腐食性/刺激性	ごく軽度の皮膚刺激性（ウサギ）（ＧＨＳ分類基準以下の刺激性で、区分に該当しない）
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	軽度の眼刺激性（眼に対する刺激作用は、投与後6日に全例で消失）（ウサギ）（区分２Ｂ）
呼吸器感作性	情報なし（分類できない）
皮膚感作性	陽性（モルモット）（区分１）
生殖細胞変異原性	区分２の成分を1%以上含有（区分２）
発がん性	成分③の一部に区分１に分類される結晶質シリカを0.1%以上含有（区分１Ａ）
生殖毒性	成分③の一部に区分２に分類される成分を3%以上含有（区分２） 成分③の一部に追加区分に該当する成分を0.3%以上含有（追加区分）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし（分類できない）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	成分③の一部に区分１（呼吸器系、免疫系、腎臓）に分類される結晶質シリカを区分１を10%以上含有（区分１）
誤えん有害性	情報なし（分類できない）

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類：	コイ	LC_{50}（96 hr）	21.1 mg/L
甲殻類：	オオミジンコ	EC_{50}（48 hr）	93.3 mg/L
藻類：	緑藻	ErC_{50}（0-72 hr）	0.281 mg/L

上記の結果から、水生環境有害性　短期（急性）を区分１とした。また、急速分解性のデータがないことから、水生環境有害性　長期（慢性）を区分１とした。

残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし（分類できない）

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
空容器、空袋、汚染容器等：	内容物を完全に除去し、関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。

これらの処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た産業廃棄物業者に委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	UN 3077
品名（国連輸送名）	環境有害物質（固体）、他に品名が明示されていないもの（テニルクロール、ベンゾビシクロン混合物）
国連分類	クラス 9

容器等級	Ⅲ
海上輸送	IMO/IMDGの規定に従う。
航空輸送	IATA/ICAOの規定に従う。
海洋汚染物質	該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	荷役作業は丁寧に行い、転倒、転落、引きずり等により容器に衝撃を加えたり、水濡れや破損させたりしないように注意する。
国内規制	
陸上輸送	規制されていない。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。
応急措置指針番号	171

15. 適用法令

農薬取締法	農薬登録番号 第24305号
化学物質排出把握管理促進法（化管法）	ベンゾビシクロン：第一種指定化学物質（管理番号：621）（10%）
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物 法第57条、施行令第18条 名称等を通知すべき危険物及び有害物 法第57条の2、施行令第18条の2：結晶質シリカ、2-クロロ-N-(3-メトキシ-2-チエニルメチル)-2’,6’-ジメチルアセトアニリド 安衛則第577条の2第3項に規定するがん原性物質：結晶質シリカ（石英） 粉じん障害防止規則（但し、該当する粉じん作業がある場合） 皮膚等障害化学物質：皮膚刺激性有害物質 安衛則第594条の2：2-クロロ-N-(3-メトキシ-2-チエニルメチル)-2’,6’-ジメチルアセトアニリド 【改正後 令和８年４月１日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物 法第57条、施行令第18条 名称等を通知すべき危険物及び有害物 法第57条の2、施行令第18条の2： ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート
じん肺法	じん肺法施行規則（但し、該当する粉じん作業がある場合）
作業環境測定法	（但し、該当する粉じん作業がある場合）
毒物及び劇物取締法	毒物・劇物に該当しない
消防法	消防法危険物に該当しない
化審法	第一種・第二種特定化学物質に該当しない
船舶安全法	環境有害物質（固体）有害性物質 等級9
航空法	その他の有害物件 分類番号9

16. その他の情報

参考文献、資料等： －

記載内容の取扱い：

- 記載内容はこの製品の一般的な取扱いに関する情報提供であって、いかなる保証をなすものではありません。
- 記載内容は現時点で一般的に入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、全ての情報が網羅

されているわけではありません。

- 新たな情報を入手した場合は改訂されることがあります。
- 注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。